

第 1 2 回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日 時 昭和 5 4 年 7 月 4 日（水）
午後 2 時 ～ 3 時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 第二部会の審議結果について
4. 資 料

委 1 2 - 1 第 1 1 回宇宙開発委員会（定例会議）

議事要旨（案）

委 1 2 - 2 宇宙開発委員会第二部会報告書

（その 1）

委12-1

第11回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 要 旨（案）

1. 日 時 昭和54年6月20日（水）
午後2時～3時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 (1) 宇宙開発計画に関する要望事項について
(2) 宇宙開発計画の見直しに関する審議について
4. 資 料
委11-1 第10回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
委11-2 宇宙開発計画（昭和53年度決定）の見直しに関する要望事項
委11-3 宇宙開発計画の見直しに関する審議について（案）
5. 出 席 者
宇宙開発委員会委員長代理 網 島 毅
宇宙開発委員会委員 吉 識 雅 夫
" 八 藤 東 福
" 斎 藤 成 文
関係省庁職員等
科学技術庁研究調整局長 園 山 重 道
" 長官官房審議官 神 津 信 男
文部省学術国際局審議官 大 崎 仁
(代理：池之上)
通商産業省機械情報産業局次長 杉 山 和 男
(代理：吉田)
" 工業技術院総務部長 服 部 典 徳
(代理：高橋)

運輸省大臣官房参事官

" 気象庁総務部長

" 海上保安庁総務部長

郵制省電波監理局審議官

建設省大臣官房技術参事官

文部省学術国際局

通商産業省機械情報産業局

郵政省電波監理局

宇宙開発事業団システム計画部 事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

" " 宇宙国際課長

6. 議事要旨

(1) 前回議事要旨

第10回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨が確認された。

(2) 宇宙開発計画に関する要望事項について

事務局から資料委11-2に基づいて、関係省庁から提出された要望事項の報告が行われたのち、以下の質疑応答が行われた。

八藤：今回の要望の中に、日米合同調査計画に関するもの及び政

西 村 康 雄

(代理：富田)

相 良 英 明

(代理：山中)

沼 越 達 也

(代理：石川)

浜 田 望

(代理：飯田)

高 秀 秀 信

(代理：土肥)

重 藤 学 二

泰 明 夫

井 上 邦 夫

三 橋 信

九 里 茂

大 野 信 幸

堀 内 昭 雄

佐 藤 允 克

他

策大綱の改訂を要するものがあるのか。

事務局：日米合同調査計画に直接関係する要望はないが、国際協力のテーマとして、科学技術庁及び郵政省から金星周回探査衛星（V O I R）計画への参加要望、運輸省から搜索救難システムの研究要望が出されている。また、政策大綱の改訂を必要とするような要望はないと考えられる。

八藤：H-I ロケットの第二段ステージの試作に着手したいとの要望があるが、これは第二部会の審議を踏まえているのか。

事務局：第一部会の審議に当たっては、第二部会の審議状況に十分配慮して検討を行うこととしたい。

網島：科学技術庁の要望にある関係機関の間で適切な合意が得られるような検討はどこで行うのか。

事務局：部会ではなく、関係行政機関の間で検討が行われるものと考えている。

網島：ランドサットDの地上局を整備したいとの要望があるが、ランドサットCの設備は使えないのか。

事務局：この要望は、ランドサットDに初めて搭載されるサーマティックマップパーというセンサー情報の受信・処理を行うため、従来の設備に加え、所定の設備を増設したいというものである。

(3) 宇宙開発計画の見直しに関する審議について

事務局から資料委11-3に基づいて説明が行われたのち、原案どおり決定された。

なお、第一部会の構成員として、日本電信電話公社の山内正弥氏に代わり 高原 靖氏が、東京芝浦電気㈱の住隆造氏に代わり 中原裕一氏が、また外務省 大川美雄氏に代わり 矢田部厚彦氏がそれぞれ、金子委員長より指名された旨 網島委員長代理から報告が行われた